

主要施策名:(2)生涯学習の充実

事務事業本数:15

基本目標(章)	主要施策(節)	施策区分	事務事業コード	事務事業	所管課
②人と文化を育む地域づくり	(2)生涯学習の充実	(1)社会教育の推進	221-1	社会教育委員・指導員活動及び研修事業	コミュニティ推進課
			221-2	社会教育団体支援事業	コミュニティ推進課
			221-3	地域学校協働活動推進事業	コミュニティ推進課
			221-4	人権教育啓発推進研修事業	コミュニティ推進課
			221-5	成人式開催事業	コミュニティ推進課
			221-6	高齢者教室開催事業	コミュニティ推進課
		(2)公民館の振興	222-1	公民館施設管理・運営事業	コミュニティ推進課
			222-2	生涯学習推進事業	コミュニティ推進課
			222-3	岱明町ホテルの里維持管理事業	コミュニティ推進課
			222-4	生涯スポーツ推進事業	コミュニティ推進課
		(3)図書館の振興	223-1	図書館運営事業	コミュニティ推進課
			223-2	子ども読書推進事業	コミュニティ推進課
			223-3	図書館システム事業	コミュニティ推進課
			223-4	図書館施設管理事業	コミュニティ推進課
		(1)社会教育の推進	221-7	青少年センター事務局事業	コミュニティ推進課

# 事務ふりかえりシート

## 《基本情報》

事務事業の名称 【1】	社会教育委員・指導員活動及び研修事業		所管課 【2】	コミュニティ推進課	
			作成者(担当者)	西 秀隆	
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	②人と文化を育む地域づくり			
	主要施策(節)	(2)生涯学習の充実			
	施策区分	(1)社会教育の推進			
重点 施策 【4】	■ 該当				
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input type="checkbox"/> 新市建設計画【 年度予定 : 金額 0 千円】 <input checked="" type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 社会教育法、市社会教育委員設置条例、市社会教育指導員に関する規則 】 <input type="checkbox"/> その他の計画【 】 <input type="checkbox"/> 該当なし				
事業区分 【6】	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定事務				
会計区分 【7】	■ 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【		】	款	10 項
				5 目	1 細目
					2

## 《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	教育に関する知識をあらゆる生涯学習に生かしながら、各種事業への協力及び助言が必要とされているとともに、市民の意向を生涯学習事業に反映させるために、社会教育委員からの生涯学習事業への指導・助言をする仕組みづくりが必要である。
対象 (誰、何に対して、受益者等) 【9】	市民、社会教育委員、社会教育指導員
意図 (どのような状態にしたいか) 【10】	生涯学習の各分野についての直接指導及び相談等に社会教育指導員があたり、社会教育事業全般を充実させる。また、各研修会への参加により社会教育に関する知識を深めていただき、会議等において業務への助言を求める。

## 《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度】 【 H17 年度から】 【 年度～ 年度まで】
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【 】
実施方法 【13】	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託・請負 <input type="checkbox"/> 一部委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【 】
事務事業の具体的内容 【14】	・社会教育の特定分野の生涯教育及び家庭教育、青少年教育、人権教育、社会体育、社会教育団体、社会教育施設運営(7項目)について直接指導と学習相談に教育委員会が任命した2名の社会教育指導員をあたらせる。 ・社会教育に関する諸計画の立案、教育委員会の諮問に対する意見と研究調査、青少年教育の特定分野に関係するものへの助言と指導を教育委員が委嘱した13名の社会教育委員に行わせる。
	【15】 事務事業を構成する細事業(2)本
	① 社会教育委員活動及び研修事業
	② 社会教育指導員活動事業

## 《事務事業実施に係るコスト》

		H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	H31年度予算	全体計画
投入コスト	事業費(千円)	国庫支出金	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0
		起債	0	0	0	0
		受益者負担	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0
		一般財源	1,977	2,020	1,937	2,129
	【16】 小計	1,977	2,020	1,937	2,129	
	[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)	1,764	1,764	1,764	1,764	
	職人件費	職員人工数	0.43	0.29	0.10	0.10
		職員の年間平均給与額(千円)	5,925	5,896	5,896	5,896
	【17】 小計	2,548	1,710	590	590	
	合計	4,525	3,730	2,527	2,719	

《事務事業の手段と活動指標》 [18]

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H28実績	H29実績	H30実績	H31計画
① 社会教育委員活動及び研修事業	委員による教育委員会諮問への意見や調査研究を行う。	会議等参加回数	回	7	8	8	8
② 社会教育指導員活動事業	指導員による特定分野への指導や学習相談等を行う。	放課後子ども教室等参加回数	回	18	17	18	18
③							

《コスト評価による年度比較》 [19]

コスト評価	H28年度決算		H29年度決算		H30年度決算		H31年度予算	
	対象(社会教育委員活動参加数)	38	36	40	40			
投入コスト合計(千円)	4,525	3,730	2,527	2,719				
対象1単位あたりのコスト(千円)	119	104	63	68				
コスト評価(対前年比)	***	114.93%	(↑)	164.01%	(↑)	92.94%	(↓)	

《事務事業の成果》 [20]

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H28目標	H29目標	H30目標	H31目標
			H28実績	H29実績	H30実績	H31実績
1 社会教育委員活動参加者数	委員として委員会会議や各種事業に参加した延べ人数	人	40	40	40	40
			38	36	36	
2 社会教育指導員助言等回数	指導員が指導・助言・相談を行った回数	回	20	20	20	20
			21	20	21	

\* 成果未達成時の理由 社会教育活動・会議が都合で参加できなかったことがある。昨年度から各委員会会議、各種事業への参加を促しているところである。その為にも情報提供を今年度も活発にしていきたいと考える。

《事務事業の評価》

	評価の視点	評価結果
妥当性 [21]	<input type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input checked="" type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
	<input checked="" type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある <input type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
有効性 [23]	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している <input type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
	<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 0.00 %】 <input checked="" type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input checked="" type="checkbox"/> ・設定できない理由( 負担金などを取ることもない為 ) [24]	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 [25]	自分の仕事があることから、重要な会議のみの出席になっているのが現状であった。今年度から事業に対して意見を言える場を設ける等していき、社会教育委員の活動を活発にしていきたい。		
今後の方向性 [26]	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	<input type="checkbox"/> 縮小して継続 総合判定 A
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	社会教育事業全般において、社会教育委員、社会教育指導員の研修等、委員相互の意見交換の場を設ける等、生涯学習、社会教育の充実推進を図りたい。		
次年度への予算反映(連動)	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)		

■ 評価責任者記入欄 ■

評価責任者(課長)の所見 [27]	社会教育委員は、社会教育法に基づき設置することが義務付けられているが、活動が明確に表れていない状況の中、諮問事項を行うなど工夫を図る必要がある。また、社会教育指導員の役割を整理することが必要と思える。	評価責任者 境 順一
-------------------	--	---------------



《事務事業の手段と活動指標》 [18]

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H28実績	H29実績	H30実績	H31計画
① 市子ども会連合会支援事業	活動等に対する補助金交付や人的支援を行う。	開催事業参加者数	人	1386	1323	1336	1350
② 市PTA連絡協議会支援事業	活動等に対する補助金交付や人的支援を行う。	開催事業参加者数	人	552	553	536	600
③ 青少年育成市民会議事務局支援事業	活動等に対する補助金交付や人的支援を行う。	開催事業参加者数	人	275	301	265	300

《コスト評価による年度比較》 [19]

コスト評価	H28年度決算		H29年度決算		H30年度決算		H31年度予算					
	対象(開催事業参加者数)	2213	2177	2137	2250	投入コスト合計(千円)	8,789	9,326	8,551	8,669		
対象1単位あたりのコスト(千円)	4	4	4	4	コスト評価(対前年比)	***	92.71%	(↓)	107.06%	(↑)	103.85%	(↑)

《事務事業の成果》 [20]

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H28目標	H29目標	H30目標	H31目標
			H28実績	H29実績	H30実績	H31実績
1 社会教育推進団体数	社会教育団体の構成団体数	団体	20	14	13	12
2 社会教育団体における事務局自立率	社会教育団体で事務局が自立している数/社会教育団体数	率	80.0	80.0	80.0	80.0

\* 成果未達成時の理由 固定的団体(PTA等5団体)+複数団体(女性の会7団体)=12団体。女性の会は会員の高齢化等を理由に申請は減少傾向。

《事務事業の評価》

		評価の視点	評価結果
妥当性 [21]	<input type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input checked="" type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない		妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
	<input checked="" type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある <input type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある		効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
有効性 [23]	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している <input type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある		有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
	<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 0.00 %】 <input checked="" type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input checked="" type="checkbox"/> ・設定できない理由( 団体支援事業のため ) [24]		

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 [25]	補助金の見直しについては、女性の会が均等額+会員数による加算額で交付している。しかしながら会員数は多いものの、所属しているだけで参加していない会員もいることや会員数が少ないものの様々な活動している団体等があるため次年度より加算額を廃止する旨報告会において説明した。自主運営については、社会教育法第10条に基づき団体に引き続き自主運営を促していきたい。時間をかけてサポートしていく。		
今後の方向性 [26]	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	総合判定	A
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	社会教育団体に対する補助金の支援については、団体の運営として長年支援してきており、補助金の見直しを行うことは、活動そのものに支障を及ぼすおそれがあり、慎重に検討する必要があるが、自らの団体の存在意義を再認識してもらうためにも、自主運営ができるように促していきたい。		
次年度への予算反映(連動)	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)		

■評価責任者記入欄

評価責任者(課長)の所見 [27]	今だ一部の団体において、事務局を所管課が担っているところがあり、今後も自主運営ができるよう促していく。	評価責任者 境 順一
-------------------	---	---------------



# 事務ふりかえりシート

## <基本情報>

事務事業の名称 [1]	地域学校協働活動推進事業	所管課 [2]	コミュニティ推進課
		作成者(担当者)	緒方 麻依子
総合計画での位置付け [3]	基本目標(章)	②人と文化を育む地域づくり	重点 施策 [4] ■ 該当
	主要施策(節)	(2)生涯学習の充実	
	施策区分	(1)社会教育の推進	
実施の根拠(複数回答可) [5]	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input type="checkbox"/> 新市建設計画【 年度予定 : 金額 0 千円】 <input checked="checked" type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 社会教育法、熊本県教育・文化等信仰補助金交付要綱 】 <input checked="checked" type="checkbox"/> その他の計画【 玉名市教育振興基本計画 】 <input type="checkbox"/> 該当なし		
事業区分 [6]	<input checked="checked" type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定事務		
会計区分 [7]	<input checked="checked" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【 】 款 10 項 5 目 1 細目 7		

## <事務事業の目的>

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) [8]	子ども達を健やかに育むためには、学校、家庭及び地域住民等がそれぞれの役割と責任を自覚しつつ、地域全体で子ども達を育む体制づくりを目指す必要がある。そのため、学校・家庭・地域が連携協力し、地域住民の参画による地域の实情に応じた取組を有機的に組み合わせて、授業等における学習補助や教員の業務補助、様々な体験や地域との交流活動など学校の要望に応じた学校支援活動を行う必要がある。
対象(誰、何に対して、受益者等) [9]	玉名中・玉名町小・築山小・滑石小・玉陵中・玉陵小の児童・生徒と教職員 小学校の低学年
意図(どのような状態にしたいか) [10]	玉名中学校に本部を置き、玉名中学校区・玉陵中学校区内の小・中学校6校において、本部の活動指導員が連絡調整を図り、地域からの支援員による学校への各種業務支援を行うことで、教職員の負担が軽減することになり、教職員が児童・生徒と向き合える時間を増やす。また、小学校の空き教室を活用した安全・安心な活動拠点を確保し、地域の大人が見守りを行うなかで地域との交流や学びあいの場を設け、子供たちの豊かな人間性を育む。

## <事務事業の概要>

事業期間 [11]	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="checked" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度】 【 H19 年度から】 【 年度～ 年度まで】
事業主体 [12]	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="checked" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【 】
実施方法 [13]	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託・請負 <input type="checkbox"/> 一部委託・請負 <input checked="checked" type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【 】
事務事業の具体的な内容 [14]	・玉名中学校区・玉陵中学校区の対象校(6校)が要望する学校現場での様々な支援を支援本部(玉名中学校)に登録した学校支援員が支援する。 支援内容(読み聞かせ、印刷、環境整備、丸付け、英語事業、部活動見守り、絵手紙、手芸、家庭科調理支援、特別支援等の学校のサポート業務、地域交流学習会) ・小学校や地域に事業実施を呼びかけて実施校を決定し、地域住民がコーディネーター、学習アドバイザー、安全管理人を務め、放課後に児童の活動拠点としての支援活動を行う。
	【15】 事務事業を構成する細事業(2)本 ① 学校支援地域本部事業 ② 放課後子ども教室推進事業 ③

## <事務事業実施に係るコスト>

		H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	H31年度予算	全体計画
投入コスト	事業費(千円)	国庫支出金	0	0	0	0
		県支出金	1,233	1,049	697	1,368
		起債	0	0	0	0
		受益者負担	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0
		一般財源	618	568	490	684
		[16] 小計	1,851	1,617	1,187	2,052
	[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)	0	0	0	0	
	職人件費	職員人工数	0.41	0.20	0.70	0.40
		職員の間平均給与額(千円)	5,925	5,896	5,896	5,896
		[17] 小計	2,429	1,179	4,127	2,358
		合計	4,280	2,796	5,314	4,410

《事務事業の手段と活動指標》 [18]

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H28実績	H29実績	H30実績	H31計画
① 学校支援地域本部事業	要望のあった業務に対し、学校支援員を学校へ派遣する。	支援要請種目数	種類	13	10	13	13
② 放課後子ども教室推進事業	小学校の空き教室で放課後に地域住民により体験学習を実施する。	放課後子ども教室実施校数	校	3	2	2	2
③							

《コスト評価による年度比較》 [19]

コスト評価	H28年度決算		H29年度決算		H30年度決算		H31年度予算	
	対象(支援要請種目数)	13	10	13	13	13	13	13
投入コスト合計(千円)	4,280	2,796	5,314	5,314	4,410	4,410	4,410	
対象1単位あたりのコスト(千円)	329	280	409	409	339	339	339	
コスト評価(対前年比)	***	117.75%	(↑)	68.40%	(↓)	120.50%	(↑)	

《事務事業の成果》 [20]

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H28目標	H29目標	H30目標	H31目標
			H28実績	H29実績	H30実績	H31実績
1 教員が児童・生徒と向き合えた時間数	学校側からの支援要請に支援員が対応した時間	時間	950	950	950	600
2 放課後子ども教室参加児童数	教室に参加した児童の人数	人	945	794	623	20
			60	40	40	20
			54	32	15	

\* 成果未達成時の理由 県の補助金額の減額に伴い、事業費も減額され、活動の実施時間も減った。

《事務事業の評価》

		評価の視点	評価結果
妥当性 [21]	<input type="checkbox"/>	市が実施するよう法令等で義務づけられている	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input checked="" type="checkbox"/>	法令等で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす	
効率性 [22]	<input type="checkbox"/>	市が事業へ関与する必要が薄れている	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている	
	<input type="checkbox"/>	利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる	
	<input checked="" type="checkbox"/>	現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である	
	<input type="checkbox"/>	事業開始当初の目的から変化してきている	
	<input type="checkbox"/>	厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	
有効性 [23]	<input type="checkbox"/>	コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input checked="" type="checkbox"/>	直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい	
	<input type="checkbox"/>	民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である	
	<input type="checkbox"/>	電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある	
	<input type="checkbox"/>	サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない	
	<input type="checkbox"/>	現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	
公平性	<input checked="" type="checkbox"/>	成果指標を設定している	c
	<input type="checkbox"/>	成果指標の目標値を達成した	
	<input type="checkbox"/>	現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない	c
	<input checked="" type="checkbox"/>	手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる	
	<input type="checkbox"/>	法定事務であり成果は求めにくい	c
	<input type="checkbox"/>	事業について積極的にHPや広報等で情報提供している	
	<input type="checkbox"/>	事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している	c
	<input type="checkbox"/>	国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> 金額が妥当 <input type="checkbox"/> 金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 0.00 %】	[24]
	<input checked="" type="checkbox"/>	受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> 設定できる <input checked="" type="checkbox"/> 設定できない理由( 学校支援事業のため )	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 [25]	今後も必要性の高い事業として市内小・中学校への事業の拡充を図りたい。		
今後の方向性 [26]	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	総合判定	C
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	今後も補助金額により、事業実施が難しくなる可能性もあるが、必要性の高い事業と考えている。学校や地域からの要望も増えているため、地域と学校の連携体制を図れるよう事業を推進していきたい。		
次年度への予算反映(連動)	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)		

■評価責任者記入欄

評価責任者(課長)の所見 [27]	地域の子どもは、地域で育てるなど「地域と学校」「学校と地域」双方をつなぐ社会教育を実践する重要な事業である。現在一部のみの実践であるため、市内全域に拡充する必要があると思える。	評価責任者 境 順一
-------------------	--	---------------

# 事務ふりかえりシート

## 〈基本情報〉

事務事業の名称 【1】	人権教育啓発推進研修事業	所管課 【2】	コミュニティ推進課
		作成者(担当者)	前田もと子
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	②人と文化を育む地域づくり	
	主要施策(節)	(2)生涯学習の充実	
	施策区分	(1)社会教育の推進	
重点 施策 【4】	■ 該当		
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input type="checkbox"/> 新市建設計画【 年度予定 : 金額 0 千円】 <input type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 】 <input checked="" type="checkbox"/> その他の計画【 玉名市人権教育・啓発基本計画 】 <input type="checkbox"/> 該当なし		
事業区分 【6】	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定事務		
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【 】		款 10 項 5 目 1 細目 9

## 〈事務事業の目的〉

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	同和問題をはじめとする、様々な分野での差別や偏見の解消のための取組みが行われてきたが、依然として職場や地域社会における人権に関わる問題が引き起こされ、当然の権利である基本的な人権が十分に保障されていない事実がある。
対象 (誰、何に対して、受益者等) 【9】	市民、小学生、中学生、高校生、学校教職員、人権
意図 (どのような状態にしたいか) 【10】	正しい理解と知識をもって正しい人権感覚を養い、すべての人の人権意識を高める。

## 〈事務事業の概要〉

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度】 【 H17 年度から】 【 年度～ 年度まで】
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【 】
実施方法 【13】	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【 】
事務事業の具体的内容 【14】	<p>・玉名市人権教育研究協議会に委託して講演会等を開催する ・玉名市人権教育研究協議会総会開催への人的な支援を行なう ・玉名市人権教育研究大会を開催する ・人権・同和教育各研修会に参加する ・人権週間における街頭啓発活動を行う</p> <p>➡ 【15】 事務事業を構成する細事業(4)本</p> <ol style="list-style-type: none"><li>市人権教育推進協議会事務局庶務事業</li><li>市町村人権同和教育協議会事業</li><li>人権教育推進啓発事業</li></ol>

## 〈事務事業実施に係るコスト〉

	H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	H31年度予算	全体計画
投入 コスト	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0
	受益者負担	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源 【16】 小 計	2,022	2,234	2,225	2,647
[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)	0	0	0	0	
職人 員 件 の 費	職員人工数	0.55	0.35	0.45	0.45
	職員の年間平均給与額(千円)	5,925	5,896	5,896	5,896
	【17】 小 計	3,259	2,064	2,653	2,653
合 計	5,281	4,298	4,878	5,300	



《事務事業の手段と活動指標》 [18]

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H28実績	H29実績	H30実績	H31計画
① 市人権教育推進協議会事務局庶務事業	協議会へ人権教育研究大会を委託すると共に、事務的支援を行う。	開催回数	回	1	1	1	1
② 市町村人権同和教育協議会事業	協議会主催の研修会に参加する。	参加回数	回	5	5	5	5
③ 人権教育推進啓発事業	人権啓発週間における啓発物を配布する。	啓発活動日数	回	4	4	4	4

《コスト評価による年度比較》 [19]

コスト評価	H28年度決算		H29年度決算		H30年度決算		H31年度予算		
	対象(人権教育研究大会参加者数)	500	504	496	500	投入コスト合計(千円)	5,281	4,298	4,878
対象1単位あたりのコスト(千円)	11	9	10	11	コスト評価(対前年比)	***	123.85% (↑)	86.71% (↓)	92.78% (↓)

《事務事業の成果》 [20]

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H28目標	H29目標	H30目標	H31目標
			H28実績	H29実績	H30実績	H31実績
1 市人権教育研究大会開催賛同率	意識調査による参加者の大会開催についての賛同者の割合	%	90	90	90	90
2 市人権教育研究大会参加者数	参加者数	人	500	500	500	500
			500	504	496	

\* 成果未達成時の理由

《事務事業の評価》

	評価の視点	評価結果
妥当性 [21]	<input type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input checked="" type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
	<input type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある <input type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
有効性 [23]	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している <input type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
	<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 0.00 %】 <input checked="" type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input checked="" type="checkbox"/> ・設定できない理由(事業内容的に受益者負担を求めものではない) [24]	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 [25]	前年同様の考えではあるが、参加者の増大、人権意識の向上、研究大会等のテーマを工夫するなどしながら進めていきたいと考えている。		
今後の方向性 [26]	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	<input type="checkbox"/> 縮小して継続 総合判定 A
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	人権に対して正しく理解し人権意識を高めるために、多くの市民の皆さんが分かりやすく理解できるよう、啓発、研修の推進を図っていきたい。		
次年度への予算反映(連動)	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)		

■ 評価責任者記入欄 ■

評価責任者(課長)の所見 [27]	学校を始めとする関係団体は人権に対する意識が高いので事業の取組に大きな問題はないが、関係者以外の一般市民に対して、行政として直接に関わる部分が少ないので、いかにして人権意識を浸透させていくか、その手法を研究する必要がある。	評価責任者 境 順一
-------------------	---	---------------



《事務事業の手段と活動指標》 [18]

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H28実績	H29実績	H30実績	H31計画
① 玉名市成人式開催事業	成人式実行委員会を組織し、成人者の企画運営により式を挙げる。	成人式案内者数	人	691	673	680	680
②							
③							

《コスト評価による年度比較》 [19]

コスト評価		H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	H31年度予算		
	対象(参加者数)	691	673	680	680		
投入コスト合計(千円)	2,215	1,204	2,546	2,636			
対象1単位あたりのコスト(千円)	3	2	4	4			
コスト評価(対前年比)	***	179.18%	(↑)	47.78%	(↓)	96.59%	(↓)

《事務事業の成果》 [20]

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H28目標	H29目標	H30目標	H31目標
			H28実績	H29実績	H30実績	H31実績
1 成人式参加率	【参加者/案内者数×100】	%	75	75	80	75
			81	79	75	
2 成人式満足度	式当日に実施するアンケート調査での参加者の満足度の平均回答値	%	80	80	95	95
			95	95	95	

\* 成果未達成時の理由 成人者の参加を促すような活動(広報活動等)が少なかったため。

《事務事業の評価》

		評価の視点	評価結果
妥当性 [21]	<input type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input checked="" type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない		妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
効率性 [22]	<input type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input checked="" type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある <input type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある		効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
有効性 [23]	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している <input type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input checked="" type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある		有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
公平性	<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 0.00 %】 <input checked="" type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input checked="" type="checkbox"/> ・設定できない理由( 市負担事業のため ) [24]		

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 [25]	実行委員会へ昨年度の実施状況等を踏まえて助言やサポートを行いたい。		
今後の方向性 [26]	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	総合判定	A
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	現在の実行委員会形式は継続していきたいと考えている。実行委員会のサポートも継続していきたい。なお、2022年4月1日施行の民法の一部改正により成人年齢が18歳に改正されたため、今後、式典開催時期、成人式の対象年齢等についても見直しを行う。		
次年度への予算反映(連動)	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)		

■評価責任者記入欄

評価責任者(課長)の所見 [27]	新成人者による実行委員会形式で成人式を企画・運営することで円滑な運営がなされている。自ら成人になることの意識付けとしても、現在の形式は継続していきたい。なお、2022年4月1日施行の民法の一部改正により成人が18歳に改正されることから、今後、式典開催時期についても見直しが必要になってくる。	評価責任者 境 順一
-------------------	---	---------------



《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H28実績	H29実績	H30実績	H31計画
① 高齢者教室事業(中央)	高齢者へ学習の場を提供する	講座開催回数	回	12	12	12	12
② はつらつ健康大学事業(天水)	高齢者へ学習の場を提供する	講座開催回数	回	1	1	0	1
③ いきいきシルバー大学事業(横島)	高齢者へ学習の場を提供する	講座開催回数	回	3	3	3	0

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	H31年度予算			
	対象( 高齢者教室・シルバー大学受講者数 )	432	474	500	0		
	投入コスト合計(千円)	532	219	251	248		
	対象1単位あたりのコスト(千円)	1	0	1	0		
コスト評価(対前年比)	***	266.54%	(↑)	92.04%	(↓)	0.00%	(-)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H28目標	H29目標	H30目標	H31目標
			H28実績	H29実績	H30実績	H31実績
1						
2						
* 成果未達成時の理由						

《事務事業の評価》

		評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない		妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
		<input type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある <input type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
有効性 【23】	<input type="checkbox"/> ・成果指標を設定している <input type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある		有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
		<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 0.00 %】 <input type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input type="checkbox"/> ・設定できない理由( ) 【24】	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	特になし		
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	総合判定	A
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	高齢者が健康で生きがいづくりの場として高齢者教室を実施し仲間づくり、楽しみ、学習の機会を提供することは大切であることから、今後も事業の推進を図っていきたい。		
次年度への予算反映(連動)	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)		

■評価責任者記入欄

評価責任者(課長)の所見 【27】	人生100年時代に対応できるように、高齢者が活躍できる契機になるような講座内容に見直していく必要がある。	評価責任者 境 順一
-------------------	--	---------------



# 事務ふりかえりシート

## 《基本情報》

事務事業の名称 【1】	公民館施設管理・運営事業		所管課 【2】	コミュニティ推進課
			作成者(担当者)	原口 麻里奈
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	②人と文化を育む地域づくり		
	主要施策(節)	(2)生涯学習の充実		
	施策区分	(2)公民館の振興		
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input type="checkbox"/> 新市建設計画【                                  年度予定                                  :                                  金額                                  0 千円】			
	<input checked="" type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【    社会教育法、公民館条例、玉山市文化センター条例                                  】			
	<input checked="" type="checkbox"/> その他の計画【    玉山市教育振興基本計画                                  】 <input type="checkbox"/> 該当なし			
事業区分 【6】	<input type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input checked="" type="checkbox"/> 施設の維持管理事業			
	<input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定事務			
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【                                  】		款	10 項 5 目 2 細目 5

## 《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	生涯学習の場である公民館としての機能を持ち、多様化する市民のニーズに対応するため、生涯学習の振興と市民教養の高揚を図り、市の文化水準の向上に寄与する。
対象 (誰、何に対して、受益者等) 【9】	公民館利用者、中央公民館、岱明町公民館、横島町公民館、天水町公民館
意図 (どのような状態にしたいか) 【10】	利用者が安心・安全に利用しやすいように、公民館施設の整備や定期的な保守点検や修繕等を行うとともに、生涯学習施設としての利用貸出を行う。

## 《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【                  年度】                                  【 H17 年度から】                                  【                  年度～                                  年度まで】
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【                                  】
実施方法 【13】	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【                                  】
事務事業の具体的内容 【14】	<div style="display: flex; align-items: flex-start;"> <div style="flex: 1;"> <p>市民の皆さんが、会合や教養、文化活動などに研修室等を利用される場合、施行規則に基づき貸し出す。また、利用者が気持ちよく利用できるように配慮するため、施設の維持管理や修繕を行い、利用者が安全で衛生的に利用が出来る場所にするよう努める。 また、横島町公民館及び天水町公民館においては近隣の体育施設の貸出を行う。</p> </div> <div style="flex: 0.2; font-size: 2em; text-align: center;">⇒</div> <div style="flex: 1;"> <p>【15】 事務事業を構成する細事業(4)本</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 中央公民館(文化センター)施設管理運営業務</li> <li>② 岱明町公民館施設管理運営業務</li> <li>③ 横島町公民館施設管理運営業務</li> </ul> </div> </div>

## 《事務事業実施に係るコスト》

		H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	H31年度予算	全体計画
投入コスト	事業費 (千円)	国庫支出金	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0
		起債	0	12	0	0
		受益者負担	3,026	3,158	3,623	2,359
		その他	494	393	376	522
		一般財源	38,516	33,846	39,219	56,246
		【16】 小 計	42,036	37,409	43,218	59,127
	[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)	1,728	1,706	1,778	1,916	
	職人 員 件 の 費	職員人工数	1.55	1.40	1.85	1.85
		職員の年間平均給与額(千円)	5,925	5,896	5,896	5,896
【17】 小 計		9,184	8,254	10,908	10,908	
合 計		51,220	45,663	54,126	70,035	

《事務事業の手段と活動指標》 [18]

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H28実績	H29実績	H30実績	H31計画
① 中央公民館(文化センター)施設管理運営業務	施設の維持管理・運営や貸出等を行う。	開館日数	日	356	356	355	347
② 岱明町公民館施設管理運営業務	施設の維持管理や貸出等を行う。	開館日数	日	329	324	330	358
③ 横島町公民館施設管理運営業務	施設の維持管理や貸出等を行う。	開館日数	日	357	356	357	358

《コスト評価による年度比較》 [19]

コスト評価		H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	H31年度予算		
	対象(利用者数)	121347	110315	134860	110000		
	投入コスト合計(千円)	51,220	45,663	54,126	70,035		
	対象1単位あたりのコスト(千円)	0	0	0	1		
コスト評価(対前年比)	***	101.97%	(↑)	103.13%	(↑)	63.04%	(↓)

《事務事業の成果》 [20]

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H28目標	H29目標	H30目標	H31目標
			H28実績	H29実績	H30実績	H31実績
1 公民館利用者数	公民館利用者延べ人数(公民館図書室利用含む)	人	112000	102000	110000	110000
2			121347	110315	134860	

\* 成果未達成時の理由

《事務事業の評価》

		評価の視点	評価結果
妥当性 [21]	<input checked="" type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている	<input type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input checked="" type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	妥当性評価
	<input type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす		a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている		b
<input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている			
<input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる			
<input type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である			
効率性 [22]	<input checked="" type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している	<input checked="" type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	効率性評価
	<input checked="" type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい		a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である		a
<input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある			
<input checked="" type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない			
<input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある			
有効性 [23]	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	有効性評価
	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した		a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない		b
<input type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる			
<input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい			
<input type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している			
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input checked="" type="checkbox"/> ・金額が妥当 □ ・金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 6.69 %】		
	<input type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる □ ・設定できない理由( ) [24]		

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 [25]	天水公民館の集約化に伴う増改築を機に、公民館利用者が増加した。		
今後の方向性 [26]	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	<input type="checkbox"/> 縮小して継続 総合判定 A
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	用ができず、中央公民館の公民館利用者数の増加は見込めない。しかし、昨年度天水町公民館の増改築が行われたことに伴い、天水町公民館の利用者数の増加が見込まれる。 また、公民館利用者が安全、安心に利用できるよう、老朽化した施設の修繕や備品の入れ替えを行うなど、維持管理を継続実施することで、各公民館の利用者数の増加を図る。		
次年度への予算反映(連動)	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)		

■評価責任者記入欄

評価責任者(課長)の所見 [27]	公民館利用者が安全、安心に利用できるよう、老朽化した施設の修繕や備品の入れ替えを行うなど、維持管理を継続実施していく。岱明町公民館建設事業、文化センター改修事業についても、関係課と協議、調整を行っていく。	評価責任者 境 順一
-------------------	--	---------------



《事務事業の手段と活動指標》 [18]

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H28実績	H29実績	H30実績	H31計画
① 中央公民館生涯学習事業	各種講座を開催し、子どもから高齢者までの学習の機会を与える。	講座開催回数	回	143	127	138	178
② 岱明町公民館生涯学習事業	各種講座を開催し、子どもから高齢者までの学習の機会を与える。	講座開催回数	回	66	89	76	61
③ 横島町公民館生涯学習事業	各種講座を開催し、子どもから高齢者までの学習の機会を与える。	講座開催回数	回	51	56	64	56

《コスト評価による年度比較》 [19]

コスト評価	H28年度決算		H29年度決算		H30年度決算		H31年度予算					
	対象(受講者数)	5239	5227	5544	5500	投入コスト合計(千円)	12,415	12,910	13,809	14,740		
対象1単位あたりのコスト(千円)	2	2	2	3	コスト評価(対前年比)	***	95.95%	(↓)	99.16%	(↓)	92.94%	(↓)

《事務事業の成果》 [20]

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H28目標	H29目標	H30目標	H31目標
			H28実績	H29実績	H30実績	H31実績
1 講座受講者数	年間延べ人数	人	5850	5750	5750	5500
			5239	5227	5544	5500
2 公民館事業の参加者数	年間延べ人数	人	720	670	700	650
			781	758	674	650

\* 成果未達成時の理由 子どもの数の減少、高齢者の就業継続、ライフスタイルの変化等、講座の受講者や社会教育事業の参加人数が減少傾向にあるため。

《事務事業の評価》

		評価の視点	評価結果
妥当性 [21]	<input checked="" type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない		妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
	<input type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input checked="" type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある		効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い a
有効性 [23]	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している <input type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input checked="" type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある		有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い c
	<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 0.00 %】 <input checked="" type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input type="checkbox"/> ・設定できない理由( 該当しないため ) [24]		

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 [25]	公民館講座の受講申込みが高齢者が多い傾向にあるため、中央・横島公民館において、夏休みや冬休み企画として子どもや親子を対象とした講座を実施するなどし、受講者と受講者層の拡大を図った。		
今後の方向性 [26]	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	総合判定	C
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	アンケート調査を実施し、利用者のニーズに合った講座展開に努めていく。また、親子で参加できるよう親子講座の拡大を図る。		
次年度への予算反映(連動)	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)		

■評価責任者記入欄 [27]

評価責任者(課長)の所見	公民館講座は、受講者の学習機会を充実させるだけでなく、その成果を地域社会に活かすことを目的としている。市民の最も身近な生涯学習の場として、公民館講座を継続していく。	評価責任者 境 順一
--------------	--	---------------





《事務事業の手段と活動指標》 [18]

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H28実績	H29実績	H30実績	H31計画
① 岱明町ホテルの里維持管理業務	施設の点検、修理等を行い、適切に管理を行った。	点検、修理確認回数	回	17	10	12	12
② 岱明ホテルの里委託業務	ホテルの生育に必要な環境の整備を外部に委託して行った。	環境保全活動日数	日	365	365	365	366
③							

《コスト評価による年度比較》 [19]

コスト評価		H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	H31年度予算		
	対象(観賞会等参加人数)	2925	3117	2203	2500		
投入コスト合計(千円)	1,817	1,604	1,827	1,729			
対象1単位あたりのコスト(千円)	1	1	1	1			
コスト評価(対前年比)	***	120.72%	(↑)	62.05%	(↓)	119.91%	(↑)

《事務事業の成果》 [20]

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H28目標	H29目標	H30目標	H31目標
			H28実績	H29実績	H30実績	H31実績
1 成虫したホテルの割合	幼虫から成虫になったホテルの割合	%	25	25	25	25
2 ホテルや環境保全に関心を持つ人数	観賞会・保護活動等に参加した人数	人	2500	2500	2500	2500
			2925	3117	2203	

\* 成果未達成時の理由 雨不足により、ホテルの上陸が見受けられなかったため、一堂に会した観賞会を取りやめて、自由観賞会とし、観賞会自体の見学者数が減少した。

《事務事業の評価》

		評価の視点	評価結果
妥当性 [21]	<input type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input checked="" type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない		妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
効率性 [22]	<input type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input checked="" type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある <input type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある		効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
有効性 [23]	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している <input type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある		有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
公平性	<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 0.00 %】 <input checked="" type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input checked="" type="checkbox"/> ・設定できない理由( 該当しないため ) [24]		

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 [25]	特になし		
今後の方向性 [26]	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	総合判定	A
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	ホテルは水がなければ生育しないが、山から湧水や川の水量の減少は気象状況に左右される。非常時の水の確保に努め、適正な維持管理に備え引き続き、ホテルの環境保全活動を行い、環境学習の場となるよう事業を継続する。		
次年度への予算反映(連動)	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)		

■評価責任者記入欄

評価責任者(課長)の所見 [27]	子ども達や市民の環境学習の場とし、自然環境保全の大切や地域ボランティア活動の拠点として、ホテルの里の適切な自然保護を行い、今後も、自然が奏でる美しさを体験できる機会づくりに努めていく。	評価責任者 境 順一
-------------------	--	---------------



《事務事業の手段と活動指標》 [18]

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H28実績	H29実績	H30実績	H31計画
① 金栗四三のふるさと玉名 横島いちごマラソン大会事業	補助金を大会実行委員会に交付し、大会開催の支援を行う。	実行委員会等開催回数	回	3	3	3	***
② みかんの里スポーツまつり事業	補助金を大会実行委員会に交付し、大会開催の支援を行う。	実行委員会等開催回数	回	4	4	4	4
③							

《コスト評価による年度比較》 [19]

コスト評価	H28年度決算		H29年度決算		H30年度決算		H31年度予算	
	対象(参加者数)	7078	6953	6882	1050			
投入コスト合計(千円)	12,575	9,694	14,513	4,793				
対象1単位あたりのコスト(千円)	2	1	2	5				
コスト評価(対前年比)	***	127.43%	(↑)	66.11%	(↓)	46.20%	(↓)	

《事務事業の成果》 [20]

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H28目標	H29目標	H30目標	H31目標
			H28実績	H29実績	H30実績	H31実績
1 スポーツイベント参加者数(全体)	延べ参加者数	人	6000 7078	6000 6953	6000 6882	1050
2 スポーツイベント参加者数(市外)	延べ参加者数(市外)	人	4600 6075	4600 5967	4600 5944	750

\* 成果未達成時の理由

《事務事業の評価》

		評価の視点	評価結果
妥当性 [21]	<input type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input checked="" type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない		妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
		<input type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input checked="" type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い a
有効性 [23]	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している <input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある		有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
		<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 0.00 %】 <input checked="" type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input checked="" type="checkbox"/> ・設定できない理由( 該当しないため ) [24]	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 [25]	いちごマラソン大会は、NHK熊本局などと連携し大河ドラマのPRを大会会場で行うとともに、参加者の安全面・満足度向上のため定員や関門を設けるなど運営方法の見直しを行った。改善目標であったスポンサー募集についてはテレビ局との連携の件もあり例年通りとなった。 みかんの里スポーツまつりは、全体の参加者数は増加となったものの、参加の減少が見られる種目もあった。		
今後の方向性 [26]	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	総合判定	A
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	いちごマラソン大会は、31年度からはスポーツ振興課に事業が移管となったため、本事業は縮小とする。 みかんの里スポーツまつりは、大儀まつりと同日開催にあたるため市役所職員の動員も限られてきている。運営方法も検討しつつ、情報発信なども見直し参加者数の増加を図っていく。		
次年度への予算反映(連動)	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)		

■評価責任者記入欄

評価責任者(課長)の所見 [27]	玉名市の特産品である「いちご」と「みかん」のPRと本市における地域に根付いた代表的なスポーツイベントであることから、継続的な事業の推進が必要である。みかんの里スポーツまつりは、昨年より参加者は増えたものの参加の減少が見られる種目もあるため、広報活動や内容の見直しを行い実施していく。またいちごマラソン大会は主管課がスポーツ振興課になるが、必要に応じて公民館職員も協力	評価責任者 境順一
-------------------	---	--------------





《事務事業の手段と活動指標》 [18]

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H28実績	H29実績	H30実績	H31計画
① 図書館窓口業務	委託業者により貸出・返却などの窓口業務を行う。	図書館(4館)の平均開館日数	日	270	291	271	277
② 図書館資料整備事業	収集方針に基づき購入図書を選定や発注を行う。	年間購入冊数	冊	9059	10758	13175	10997
③ 図書備品事業	市民のニーズを踏まえた本や視聴覚資料の購入を行う。	年間購入資料数	点	22	29	36	29

《コスト評価による年度比較》 [19]

コスト評価	H28年度決算		H29年度決算		H30年度決算		H31年度予算	
	対象(図書館利用者)	88775	96137	97071	93000			
投入コスト合計(千円)	57,452	61,018	69,832	68,575				
対象1単位あたりのコスト(千円)	1	1	1	1				
コスト評価(対前年比)	***	101.96%	(↑)	88.23%	(↓)	97.56%	(↓)	

《事務事業の成果》 [20]

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H28目標	H29目標	H30目標	H31目標
			H28実績	H29実績	H30実績	H31実績
1 人口一人当たり図書貸出冊数	人口一人当たりの図書貸出冊数	冊	5.5	5.5	5.5	5.6
2 利用者一人当たり図書貸出冊数	利用者一人当たりの図書貸出冊数	冊	4	4	4	4

\* 成果未達成時の理由

《事務事業の評価》

		評価の視点	評価結果
妥当性 [21]	<input type="checkbox"/>	市が実施するよう法令等で義務づけられている	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	法令等で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす	
効率性 [22]	<input type="checkbox"/>	市が事業へ関与する必要が薄れている	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている	
有効性 [23]	<input type="checkbox"/>	利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である	
公平性 [24]	<input type="checkbox"/>	事業開始当初の目的から変化してきている	公平性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	
	<input type="checkbox"/>	コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい	
	<input type="checkbox"/>	民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある	
	<input type="checkbox"/>	サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない	公平性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	
	<input type="checkbox"/>	成果指標を設定している	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	成果指標の目標値を達成した	
	<input type="checkbox"/>	現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない	公平性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる	
	<input type="checkbox"/>	法定事務であり成果は求めにくい	公平性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	事業について積極的にHPや広報等で情報提供している	
	<input type="checkbox"/>	事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している	公平性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	
	<input type="checkbox"/>	・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる <input type="checkbox"/> ・負担率【 0.00 %】	公平性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input type="checkbox"/> ・設定できない理由( )	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 [25]	天水図書館の開館にあたり、読書ニーズを活かした選書やおはなし会やクリスマス会などの催しをし、利用者の増加に努めた。		
今後の方向性 [26]	<input type="checkbox"/> 拡充して継続	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 縮小して継続
	<input type="checkbox"/> 執行方法の改善	<input type="checkbox"/> 休止・廃止	総合判定 C
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	天水公民館図書室については、平成30年度から天水支所周辺集約化事業により天水図書館として位置づけ、施設利用時間の延長や休日開館を実施し利用者の利便性を図り、利用者の増加に努める。		
次年度への予算反映(連動)	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名)		
	<input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)		

■評価責任者記入欄

評価責任者(課長)の所見 [27]	利用者が求める資料の収集等を行い蔵書の整備に努め、市民のニーズに応えられるよう継続して事業を進めていく。また、窓口業務のサービス向上のため、窓口業務等の委託業者と協議調整を行い、連携を強化していく。	評価責任者 境 順一
-------------------	---	---------------





《事務事業の手段と活動指標》 [18]

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H28実績	H29実績	H30実績	H31計画
① 子ども読書活動推進事業	童話発表大会・読書感想文等の読書に親しむ機会を提供する。	子ども読書活動行事実施回数	回	8	8	8	8
② 移動図書館車事業	移動図書館車で市内の保育所、小学校等を巡回する。	巡回回数	回	421	479	452	450
③ ブックスタート事業	乳幼児4ヶ月健診での読み聞かせと絵本を配布する。	絵本配布数	冊	1008	1008	916	1000

《コスト評価による年度比較》 [19]

コスト評価		H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	H31年度予算		
	対象(図書館利用者)	88775	96137	97071	93000		
	投入コスト合計(千円)	4,315	7,200	3,549	3,505		
	対象1単位あたりのコスト(千円)	0	0	0	0		
コスト評価(対前年比)	***	64.91%	(↓)	204.84%	(↑)	97.00%	(↓)

《事務事業の成果》 [20]

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H28目標	H29目標	H30目標	H31目標
			H28実績	H29実績	H30実績	H31実績
1 高校生以下図書カード登録者数	高校生以下の図書カード登録者数	人	350	330	340	350
			322	372	359	
2 高校生以下利用者一人当たり図書貸出冊数	高校生以下の利用者一人当たりの図書貸出冊数	冊	3.5	3.5	3.5	3.5
			3.1	3.3	3.3	

\* 成果未達成時の理由

《事務事業の評価》

	評価の視点	評価結果
妥当性 [21]	<input type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い c
	<input type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある <input type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
有効性 [23]	<input type="checkbox"/> ・成果指標を設定している <input type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い c
	<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる <input type="checkbox"/> ・負担率【 0.00 %】 <input type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input type="checkbox"/> ・設定できない理由( )	公平性 【24】

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 [25]	図書館まつりや読書感想文コンクールなど、子どもたちが本に触れる機会を提供できるよう努めた。		
今後の方向性 [26]	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	<input type="checkbox"/> 縮小して継続 総合判定 C
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	継続して読書に親しむ機会を提供していく。		
次年度への予算反映(連動)	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)		

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 [27]	「第二次子ども読書活動推進計画」に基づき、家庭、地域、学校と連携し、子どもたちが読書に親しめる事業を進めるとともに、おはなし会など市図書館独自の行事を行い、子どもたちの読書に触れる機会づくりに努める。	評価責任者 境 順一
-------------------	--	---------------



《事務事業の手段と活動指標》 [18]

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H28実績	H29実績	H30実績	H31計画
① 図書館システム(ソフトウェア)運用事業	クラウドサービスの利用により貸出管理、蔵書管理、レファレンス等の業務を行う。	図書館の(4館)の蔵書冊数	冊	244513	248902	259634	260000
② 図書目録作成事業	図書館システムのデータベースに図書目録を作成する。	図書目録冊数	冊	5156	5065	5162	5000
③ 図書館オンラインポータルサイト(TOOL)使用事業	「tool」を用いて発注し、図書のデータを登録、管理する。	図書登録冊数	冊	8907	8472	10642	9300

《コスト評価による年度比較》 [19]

コスト評価	H28年度決算		H29年度決算		H30年度決算		H31年度予算	
	対象(図書館利用者)	88775	96137	97071	93000			
投入コスト合計(千円)	6,487	5,762	5,629	5,594				
対象1単位あたりのコスト(千円)	0	0	0	0				
コスト評価(対前年比)	***	121.91%	(↑)	103.36%	(↑)	96.41%	(↓)	

《事務事業の成果》 [20]

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H28目標	H29目標	H30目標	H31目標
			H28実績	H29実績	H30実績	H31実績
1 図書館(3館)貸出冊数	貸出延べ冊数	冊	360000 332451	360000 361588	400000 364468	380000
2 図書購入メールリクエスト及び貸出ネット予約合計件数	図書購入メールリクエスト及び貸出ネット予約が行われた合計件数	件	1500 1416	1500 1019	1500 1591	1500

\* 成果未達成時の理由

《事務事業の評価》

		評価の視点	評価結果
妥当性 [21]	<input type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない		妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い c
		<input type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある <input type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
有効性 [23]	<input type="checkbox"/> ・成果指標を設定している <input type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある		有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い c
		<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 0.00 %】 <input type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input type="checkbox"/> ・設定できない理由( ) [24]	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 [25]	システムを利用した資料の登録を行い、予約やリクエスト等もシステムを活用しながら迅速に行えるようになった。		
今後の方向性 [26]	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	総合判定	C
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	継続して図書館システムの活用を図っていく。		
次年度への予算反映(連動)	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)		

■評価責任者記入欄

評価責任者(課長)の所見 [27]	図書館システムを有効活用し、適確な蔵書管理などより一層利用者ニーズに応えていけるよう事業を継続していく必要がある。	評価責任者 境 順一
-------------------	---	---------------





《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H28実績	H29実績	H30実績	H31計画
① 図書館施設維持管理事業	委託業者により施設の各整備を定期的に点検する。	設備点検委託件数	件	7	5	4	4
② 図書館施設修繕事業	施設や設備の修繕を行い、安全で快適な利用環境を確保する。	修繕件数	件	17	10	8	8
③							

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価		H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	H31年度予算
	対象( 図書館利用者 )	88775	96137	97071	93000
投入コスト合計(千円)	7,677	21,948	5,800	9,473	
対象1単位あたりのコスト(千円)	0	0	0	0	
コスト評価(対前年比)	***	37.88%	( ↓ )	382.09%	( ↑ )

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H28目標	H29目標	H30目標	H31目標
			H28実績	H29実績	H30実績	
1 図書館利用者数	図書館利用者(4館)の延べ人数	人	95000	95000	95000	98000
			88775	96137	97071	
2						

\* 成果未達成時の理由

《事務事業の評価》

		評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない		妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い c
効率性 【22】	<input type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある <input type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある		効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
有効性 【23】	<input type="checkbox"/> ・成果指標を設定している <input type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある		有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い c
公平性	<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 0.00 %】 <input type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input type="checkbox"/> ・設定できない理由( )		【24】

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	経年劣化等により、随時修繕等を行った。		
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	総合判定	C
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	今後も利用者が安心して図書館を利用できるよう施設の維持管理に努める。		
次年度への予算反映(連動)	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)		

■評価責任者記入欄

評価責任者(課長)の所見 【27】	天水図書館が新しく開館したことにより、市内全域でどこでも誰でも読書する機会が保てるようになった。今後は、利用者が安心して図書館を利用できるよう施設の維持管理に努める。	評価責任者 境 順一
-------------------	---	---------------



《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H28実績	H29実績	H30実績	H31計画
① 青少年センター事務局事業	教育委員会が委嘱した補導員により青少年を健全に育成する。	街頭補導実施回数	回	307	311	311	312
② 社会を明るくする運動事業	広報等の啓発活動を行う。	広報車巡回活動	回	2	2	2	2
③ 玉名広域補導連絡協議会事務局庶務事業	広域的に、青少年に関わる事業に取り組む。	街頭補導実施回数	回	84	84	84	84

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	H28年度決算		H29年度決算		H30年度決算		H31年度予算	
	対象(街頭補導実施回数)	393	397	397	397	397	398	
投入コスト合計(千円)	5,824	7,037	7,037	5,894	5,894	6,938		
対象1単位あたりのコスト(千円)	15	18	18	15	15	17		
コスト評価(対前年比)	***	83.60%	(↓)	119.39%	(↑)	85.17%	(↓)	

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H28目標	H29目標	H30目標	H31目標
			H28実績	H29実績	H30実績	H31実績
1 市内少年犯罪発生件数	市内における18歳未満の青少年が犯した犯罪発生件数	件	16	17	5	14
			18	6	15	
2 玉名警察署管内の検挙・補導件数	玉名警察署が検挙・補導した件数	件	18	12	8	16
			13	9	17	

\* 成果未達成時の理由 30年度件数は前年度に比べ約2倍だが、検挙人数は減少している。引き続き犯罪の減少となるよう警察と連携・協力していきたい。

《事務事業の評価》

	評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input checked="" type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
	<input type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある <input type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
有効性 【23】	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している <input type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い c
	<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 0.00 %】 <input checked="" type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input checked="" type="checkbox"/> ・設定できない理由(市の事業であるため) 【24】	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	平成30年度末に九州地区少年補導センター等連絡協議会及び全国青少年補導センター連絡協議会より退会。今後は同じく青少年センターの組織をもつ5市が加盟している熊本県少年補導センター等連絡協議会で熊本県内の連携をさらに強化予定。		
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	総合判定	C
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	平成30年度末に九州地区少年補導センター等連絡協議会及び全国青少年補導センター連絡協議会より退会する予定であり、今後は熊本県少年補導センター連絡協議会内の連携を強化する。		
次年度への予算反映(連動)	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)		

■評価責任者記入欄

評価責任者(課長)の所見 【27】	少年の非行・犯罪行為は減少傾向にあり、補導活動というよりは見守り活動の意味合いが強くなってきている。今後も中学校生徒指導連絡協議会、高校生徒指導連絡協議会、玉名広域補導連絡協議会等と情報を共有しながら、更に玉名警察署と連携を深めていきたい。	評価責任者 境 順一
-------------------	--	---------------